

令和8年度（2026年度）
事業計画書

1. 申請者の概要

団体名	吹田商工会議所
代表者職・氏名	会頭・古川 國久
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町2丁目17番4号
担当者職・氏名	事務局長・中小企業振興部長 谷 将行
連絡先電話番号	06-6330-8001
連絡先メールアドレス	tani@suitacci.or.jp

事業名		デザイナー・クリエイター活用促進事業	事業番号	1
事業の概要	事業概要	中小企業の発信力向上と地域クリエイターの市場開拓を支援する。交流会で円滑な外部委託の進め方を共有し、会議所が依頼の具体化からマッチング、補助金活用まで伴走する。納得感のある連携環境を整え、企業とクリエイターの共創により地域経済を活性化させる仕組みの構築を目指す。		
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<p>現在、市内企業の多くが魅力ある商品やサービスを有しながらも、発信力や表現力の不足により、その価値を顧客に十分に伝えきれていない課題が散見される。特に小規模事業者は、予算の制約やアウトソーシングに関するノウハウ不足から、専門家を活用した効果的な広報活動に至っていない。一方で、地域のデザイナーやクリエイターにとっても、自らの専門技能を地域ビジネスに活かす接点や、新たな市場開拓の機会が不足しているのが現状である。</p> <p>こうした双方の課題解決を目指し、本事業では「デジタル」と「アナログ」の二つの領域で交流会を実施する。広告・広報物を外部委託する際、どの職種に何を依頼すべきかを整理し、制作工程や事例を詳しく紹介することで、事業者が最適なパートナーを選定するための判断基準（発注能力）を養う機会を提供する。</p> <p>さらに、交流会後の「ハンズオン支援」により、商工会議所が伴走者として、依頼内容の具体化から個別マッチング、さらには補助金活用等の資金支援までを一貫してバックアップする。商工会議所が介在し、専門用語の橋渡しや予算調整のアドバイス等を行うことで、単なる出会いの場の提供に留まらず、双方が納得感を持ってスムーズに協力関係を築ける環境を整備する。地元の企業とクリエイターがパートナーとして手を取り合い、地域ビジネスを継続的に盛り上げていく仕組みを構築することで、吹田市全体の経済活性化に寄与することを目指す。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市内(11,703事業者)を中心に、地域経済を支える「企業」と、価値を可視化する「クリエイター」の双方を支援対象とし、両者のマッチングによる相乗効果を目指す。		
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えて実施する事業の場合に記載すること。				
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		<p>広告・広報物を外部委託する際、どの職種に何を依頼すべきかを整理し、事業者が最適なパートナーを選定できるよう、クリエイターの事業分野や制作工程、過去の事例を詳しく紹介。事業者とクリエイターの相互理解を深め、実効性の高いマッチングを促進する。</p> <p>1. クリエイターとのマッチング交流会 【①デジタル編 Web・SNS関連、②アナログ編 チラシ・パンフレット関連】 【事業手法】：人材交流型 【実施時期】：2026年9月～10月(予定) 【実施場所】：吹田商工会議所 3階 大会議室 【実施方法】：対面 【実施内容】：SNS、Webサイト、動画活用といったデジタルツールによる情報発信をテーマに、Webデザイナーや映像クリエイター等の役割を解説。オンラインでの認知拡大や集客を強化したい企業と、最新のデジタル技術を持つクリエイターを繋ぎ、即時性のあるPR施策や共創のきっかけを創出する。また、チラシ、パンフレット、商品パッケージ等の紙媒体やロゴデザインをテーマに、グラフィックデザイナーや写真家の役割を解説。手元に残る媒体を通じて「信頼」や「ブランド」を醸成したい企業と、視覚伝達のプロを繋ぐ。地域密着型のビジネスに不可欠なアナログ媒体の再定義と、効果的な広報物制作に向けたパートナーシップを構築する。</p> <p>2. ハンズオン支援 地域で活躍するクリエイターの専門性を「見える化」し、経営課題を抱える市内事業者との戦略的なマッチングを促進する。 【クリエイターに対する支援】 ①クリエイターに対して「深掘りヒアリング」を実施する。単なるスキル把握に留まらず、ターゲット層(誰に)、提供価値(何を)、独自の手法(どのように)といった「事業ドメイン」を明確化する。ビジネスパートナーとしての強みや、支援可能な業種・課題解決の領域を、第三者の視点で言語化する。 ②ヒアリング結果は、商工会議所の公式ホームページにプロフィールとして集約・掲載する。公的機関による紹介という「信頼の裏付け」が得られることで、この掲載ページはクリエイター自身の営業活動を強力に後押しする「デジタル名刺」としての役割を担う。 ③蓄積されたデータベースを、リブランディングや販路開拓、採用広報などの課題を持つ会員企業への提案に活用する。クリエイターには新たな活躍の場を、事業者には確かな解決力を提供することで、地域内でのビジネス循環を創出し、吹田の経済活性化に寄与することを目指す。</p> <p>【事業者に対する支援】 ①交流会に参加した事業者及び支援を希望された事業所に対し、経営指導員が個別ヒアリングを実施する。広報課題を整理し、「誰に・何を・どう伝えるか」という要件定義をサポートすることで、クリエイターへのスムーズな発注を支援する。 ②事業者のニーズに合致するクリエイターを提示し、面談の調整を行う。必要に応じて商工会議所職員が商談に同席し、専門用語の橋渡しや予算調整のアドバイスを行うことで、双方が納得感を持って契約できる環境を整える。 ③マッチング成立後のプロジェクト進捗を確認し、トラブルを未然に防ぐ。また、広報物制作に関連する各種補助金(小規模事業者持続化補助金等)の申請支援を併せて行い、資金面からも事業者の情報発信力強化をサポートする。</p>		
事業分野		クリエイター活用促進		

主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 78 社	過去における人材交流型事業での実施において、同程度の申込をいただいていることから、同様の申込数を見込むことによる数値設定としている。 会報へのチラシ同封、当会議所ホームページ、各種SNS等による周知、経営指導員による巡回時PR等。							
	成果指標	代表指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業者数	数値目標	20	者				
	その他目標値	目標値の内容⇒ 社								
事業の目標①	事業の運営経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
		⇒	40,400	円 ×	60	社 ×	1.00	=	2,424,000	円
			101,000	円 ×	18	社 ×	1.00	=	1,818,000	円
				円 ×		社 ×		=		円
				円 ×		社 ×		=		円
		円 ×		社 ×		=		円		
		計		78	社	(小計)		4,242,000		
事業の目標②	個別支援に要する経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費		
		⇒		円 ×		社 ×		=		円
				円 ×		社 ×		=		円
				円 ×		社 ×		=		円
				円 ×		社 ×		=		円
		計			社	(小計)			円	
補助対象事業費 計		計							4,242,000	円
算出額	受益者負担	円			受益者負担額の積算					
	補助対象事業費	補助率			(受益者負担)					
	4,242,000	円 ×	1.00	=	4,242,000	円	(円)		
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	支援企業数	役割 (配分の考え方)					
	○	吹田商工会議所	4,242,000 円	78						
			円							
			円							
			円							

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 60 社	過去における人材交流型事業での実施において、同程度の申込をいただいていることから、同様の申込数を見込むことによる数値設定としている。 会報へのチラシ同封、当会議所ホームページ、各種SNS等による周知、経営指導員による巡回時PR等。						
	支援対象企業の変化	指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業所数	数値目標	10	社			
	その他目標値	目標値の内容⇒							
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 18 社	交流会参加者及び支援希望者に対し、ハンズオン支援を行う。 会報へのチラシ同封、当会議所ホームページ、各種SNS等による周知、経営指導員による巡回時PR等。						
	支援対象企業の変化	指標	異業種とのマッチングによりビジネスが拡大した事業所数	数値目標	10	社			
	その他目標値	目標値の内容⇒							

【備考】

--

※別添で補足する内容があれば添付してください。